

KAPD

ウィズ（共に） With

くまもと障害者労働センター &
あきた共同作業所 通信

1997年9月号

〒862 熊本県熊本市保田窪本町5-29

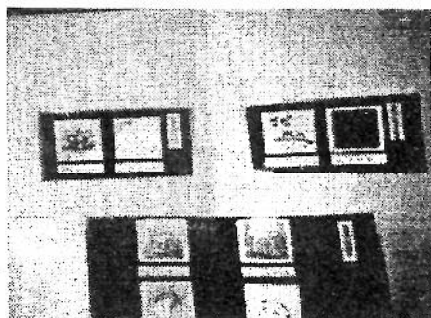
TEL・FAX共通

096-382-0861

牛乳パックの再利用を考える全国大会 （島根）に参加して

吉村 春美

8 / 23・24日に島根県松江市で開催されたのでパック連から田中さん小山さん夫妻宇土の上野さんと情報プラザの山川さんと高齢者協同組合設立準備会の前田さんと竹田さん労働センターからも3名で参加しました。22日の夜10時に熊本を出発して高速を走って約8時間かかって島根に朝の7時過ぎにつきました。時間があつたので、出雲大社を参拝して見て回りました。砂利道は多いし、道は斜めになっていたり、段差があつて、車椅子では介助を頼まないと行きにくいと思ひました。それに周辺の道や、お土産屋さんも入口に段差はあるし店の中は狭いし、トイレの場所もちよつとわかりにくかつたので、観光地なのにどうにかならないのかと思ひました。その後会場に向かいました。会場は松江市内のくにびきメッセでありました。新しくてきれいなところでした。予定の時間より早くついたので、パネル展示や手すきハガキコンテスト入賞作品展や、牛乳パックの手すきハガキ体験コーナー、リサイクル作品展や企業のリサイクル機器、商品展示、バリアフリーに関するパネルや書籍、商品が展示してありました。パック連からはパネル、労働センターからも、ハガキとカードとのし袋を展示しました。特に手すきハガキの入賞作品はよくアイデアが思いつくと思つたし、とても良くできていました。午後からは全体会と記念講演、環境やリサイクルバリアフリーをテーマにしたリリーススピーチ、林家ライス・カレー子による環境漫才がありました。



全 体会終了後は交流会があり、飲んだり食べたり他県から来た人たちと話したりして盛り上がりました。翌日は分科会がありました。私たちは第2分科会に参加しました。内容は作業所のネットワークでした。どこの作業所もほとんどセンターでしてる仕事と似たような事をしていて大変そうだと思います。地元のわれしこうという作業所は自分たちで作ったハガキと便せんと封筒を高校総体の時、使ってもらうように市役所に売り込みして使ってもらったそうです。パックの回収はどこも大変だなあと思いました。そして、各作業所の活動報告をお願いしますということだったので、労働センターで作っているメッセージカードとのは袋の宣伝をしてきました。分科会のアドバイザーで、エイト紙工の奥上さんも参加されました。牛乳パックを回収して、牛乳パックで作った製品は、良くできているので、今までどおりプライドを持って頑張ってもらいたいと言われました。

そ れで、労働センターで作っているのは袋を全国区にしたいといっておられました。私たちは分科会だけ参加して、会場を出ました。途中松江市役所の近くで昼食を食べたり、お土産を買ったりしました。そして、お昼の2時過ぎに松江を出発して、また長時間かかって熊本に帰ってきました。体力的にはちょっときつかったし、腰が痛くなったけど、勉強になりました。それと島根は、熊本とちがってとても涼しくていいところでした。

「労働センターと24時間TV」

オープニングのステージに労働センター代表の倉田氏が立っている。KKTテレビの司会者が倉田氏へマイクを向ける。「今年のテーマは勇気です。倉田さんにとって勇気とは？」倉田さんは、ややきんちょう気味だ。「ちょ…ちょう…ちょうせん…挑戦することです。」

くまもと「障害者」労働センターは、今年で6回目の24時間TVへの参加である。労働センターがサンロード新市街に出て多くの人の



前に出て「紙すき」の実演指導を始めるにあたっては、当時としては

ベンネーム 遊 美人(ユウ ヨシト)

「勇気」が必要であつたろうと思いながら、倉田さんの「勇気とは挑戦すること」の言葉に、私はステージの一番前で聞き強く強く拍手を送った。紙すきコーナーではパック連の母さん数名・渡辺さん・労働センターからは倉田さん・山田さん・野口さん・緒方さん・川上小から堀本先生がすでに準備を終了。

2 3日午後7時過ぎ、KKTの女性アナウンサーそれにカメラマン・ライトマンがやって来た。「紙すき」の撮影だ。明日、放映のためのVTR撮りだそう。今年のハガキにはピンク・緑・黄色の色もすき込まれるようになっている。又、模様紙や木の葉・花柄なども用意され、製作者の工夫と選択の幅を持たせてある。女性アナはピンクのバルブを選んだ。型に流し込み、そしてみじの葉を漉き込んだ。TVの撮影のためか人も集まってくる。TVにちょっとでも映りたいのだ!

「これは、いつ放映すつとですか」

「明日の17時からです。」(その5時から、久島さんがアナの作品を批評するのです。そん

なこと知るよしもない久島君、その日は何を
しているのやら)

2 4日、センターの久島さん・千賀崎さん・
村田さんの顔もあった。サンロードの通行
人は、ひっきりなしである。しかし、足を止
めて見て行く人は少ない。そこで『呼び込み』が
いる。私と千賀崎さんは、声を大にして叫ぶ?

これも勇気がいる。「紙すきしませんか?
牛乳パックからハガキを作ってみませんか…無
料ですよ。」と。ただ声を出すだけではだめであ
る。この人は、と思う人の目を見て話しかける。
でも、知らんぷりをする人もいる。目をふせて
行く人もいる。「急いでいます」と、ことわりを
言う人もいる。人さまざまである。でも、分
かった。呼び込み成功率が高いのは、子ども連
れの親さんである。「夏休みの宿題の一つにな
るよ…」との声に、ふりむく親子。ニコッと
笑顔を作りながら、テーブルの方へ近づく。こ
のように、親子の体験者が増えて来る。千賀崎
さんの車椅子からの声もだんだん大きくなって
いった。自分で作ったハガキは世界で一枚しか
ない。出来たハガキを大事そうに持ち帰る姿が
いい。関心ある親さんは作り方を熱心にたず
ね、紙すきセットを購入されていた。家庭での
再度の体験が大切なのだ。

エ ンディングも近まる。ステージには久島氏
が上がっている。TVの生中継だ。彼の姿
が、TVのモニターにも映っている。「私も紙す
きをしたんですよ、これです」と、あの女性ア
ナが黄葉を漉き込んだピンクのハガキを見せ
る。ハガキがアップで映る。マイクが久島氏へ
向けられる。「紙すきコーナーでハガキ作りの
指導をされていた久島さんです。久島さん、い

かがですか? このはがきのできぐあいは?」
久島氏答える。「と…とっ…ととても良くでき
ています。」まわりから拍手が起きる。この映
像は、電波に乗って熊本県内の家庭へ届いてい
るのだ。

ス テージ前には、募金箱がたくさん並んでい
る。昨年の募金高は約9億1千万円とか
…。1992年には、それらの募金の中から労
働センターにも地球のマークのついた、リフト
付きバスが1台贈られている。それで、セン
ターで牛乳パックの回収活動が出来ているの
だ。労働センターは、ただただだけではないの
だ。このように、街へ出て自分達の存在を生
きて素敵な活動をしていることを、多くの人
々に知らせているのだ。この2日間、サン
ロード新市街では車椅子の人々がたくさん往
来した。

「今日は、車椅子の人が多いなー」
「いつも、こぎゃんなからんとネ」久島さん
との会話の一コマである。障害があろうとな
かろうと、多くの人々が、「地球を守ろう」「困
っている人々のために」との目的のための集
まり、共にふれあい、やさしさをいっぱい出
し合った2日間であった。



訪ねてみれば

心はいつもバリアフリー

連載／第9回

村上 博

さあ、前回はカードを紛失した松葉杖の
と弁護士某氏。ヒューマンネットワーク
熊本代表某氏のエピソードを書き、回り道
をしてしまいました。

6月20日（木）旅も中盤。早朝、ハ
ノーファー市近郊の終点駅でのパーク
&ライドの様子を見学した私たちは、ホテル
での朝食もそこそこに旅一座のごとく荷
物をまとめると次の訪問地カッセル駅へと
列車に乗り込み、ハノーファー市を後にし
たのです。

午前10時頃、ドイツ新幹線も停車する
カッセル駅に到着。赤ら顔の人が良さ
そうな駅員がホームまで出迎えてくれまし
た。サービス精神に富んだその駅員さんは
日本から見学に来たことに感謝したのか大
変な熱の入れようで説明をしてくれました。
車椅子対応のトイレは、外側からのカ
ギが必要で有料だとのこと。じゃあ、カギ
を持たない旅行者などはどうしたらよいの
か、と質問すると、インフォメーション
に連絡するところの人たちが案内してカ
ギを開けてくれる、と立派な体格のドイツ
婦人をわざわざ2人呼んでくれました。駅
の表はガソリンスタンドを思わせるような
大屋根が、何本もの円柱で支えられていま
した。その駅前広場には路面電車やバスが
乗り入れています。熊本駅で言うと自家用
車用の駐車場やタクシーが止まっているあ
たりにバスや電車が乗り入れていると言っ
た感じです。しばらく眺めていましたが、
入ってくる電車もバスもほとんどノンス
テップです。電車やバスから降りて新幹線

のホームまでわずか3～4分で行ける。と
答えてくれたのは、乗り物博士の丸山さん。
確かに車椅子でも階段など一切なくスロー
プの通路を通してホームへ行くことができ
ました。

親切な駅員さんの見送りを受け、ドイツ
親国鉄特急の1等車に乗り込みました。
丸山さんの提案でマンハイム市、カールス
ルーエ市に途中下車することになりました。

マンハイム市は、前回（94年）訪れた
マときにはまだ電停などが工事中でした
が、わずか2年で沢山のノンステップ電車
が走っていました。野口みどりさんと甲斐
田さんと3人で中心街を散策。途中、円を
ドイツ・マルクに両替するために銀行に立
ち寄りました。ドイツ語が話せない我々で
もちゃんと両替できました。いつものよう
に時間を決めて駅で待ち合わせ。駅前行き
の1番の電車に乗り込みました。するとカ
ラフルな電動車椅子の女性が同じ車輌に乗
り込んできました。買物帰りのようで、家
電品らしき荷物を抱え、バックシートに日
除けの傘が取り付けられています。出かける
事が多い（？）彼女のアイデアなのでしょう
う。車内ではチラチラと見ていただけでし
たが、なんと彼女も駅前の電停で降りたの
です。その途端、それとばかり彼女を取
り巻き交流開始。日本人と会うのは初めて
という彼女でしたが、特別驚く風でもなく、
バーケイションなの？と逆に質問してきま
す。野口さんが、この町の電車システムを
見に来たこと、ノンステップ電車が沢山
走っていて素晴らしい、というときささず

彼女は、「まだ問題は残っている。ノンステップ電車は現在2本に1本しか走っていないので待たないといけない」との答え。我々は3人とも口をアングリ。確かにノンステップの導入率は50%らしい。しかし、2本に1本とはいえ、ひんぱんにノンステップ電車が来るのです。ですから私たちに言わせると「このゼイタクモン、」という感じなのです。しかし、彼女たちにすれば、なぜ車椅子の人は待たなければいけないの?という感覚なのです。ここでも車椅子障害者が1人の市民として、当たり前の感覚で暮らしていることを大いに実感。彼女は最後に、いい旅を祈っています、とにこやかに去っていきました。

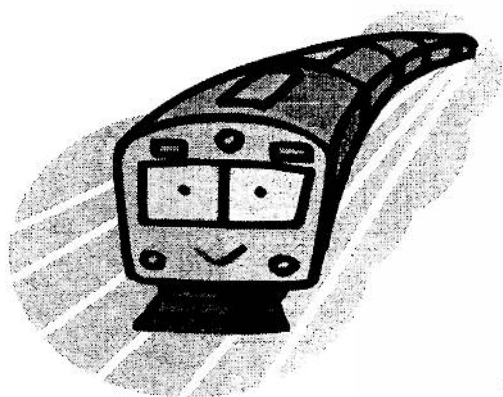
次に途中下車したカールスルーエ駅。電車や鉄道マニヤの丸山さんに教えられて一番端っこのホームを見るとそこには路面電車が止まっていました。熊本でもそうですが、駅前まで電車が来ているところは日本でも何箇所があるそうですが、ドイツ国鉄と連携して路面電車が駅のホームに乗り入れている、との説明にビックリ。しかし、その路面電車は、駅のホームの高さに床の高さを合わせているので、駅では段差がなく乗り込めますが、街中では床が高く、車椅子単独では乗れません。

駅舎から外に出た途端、ぱっと青空が広がり、まぶしい太陽が顔を出しました。「これが本当のヨーロッパたい」と県庁マンの池田さんを思わず振り返った私。ヨーロッパは暑く、半袖のTシャツが必需品と、一度だけの経験ですっかり先輩面して服装を講釈をしていた私は、寒くて雨続きのヨーロッパの現実の前にはなんの弁解も出来ません。そして旅の間、池田さんに言われたことでしょう。“話がちがう”と。

カールスルーエの街はおりしも週末の金曜日。繁華街の大変な人手の中を電車が人に遠慮がちにソロソロと進んで行きます。私たちも中心部で電車を降り、カフェテラスで食事をするようになりました。明るい青空、行き交う外国の人たち。おっと、ここでは私たちの方が外国人なのだ。久しぶりの晴天に皆リラックス気分。指さしと片言の英語で注文したドイツの軽食を、人の流れをウォッチングしながら味わって食

べました。私たちの気分を解放し、楽しい気分にしてくれたのは、果たして何でしょう。それはきっと、街を人の手に取り戻しているからではないでしょうか。考えてみて下さい。今の熊本市で、車の流れや排気ガスを気にせず、通りの往来で楽しく食事できる所が果たしてあるのでしょうか。おそらく100%近い人が“ノー”と答えるでしょう。本来の活気を取り戻した街をカールスルーエ以外にもヨーロッパ各地でいくつも目にしました。そしてそんな待ちぶせに、排気ガスを出さず、クリーンで大量輸送の路面電車が、いくつもの都市で復活し、大きく貢献した。しかも登場してきた電車はことごとく床の高さが30センチ程のノンステップ型。ですから、車椅子だけではなく、乳母車、高齢者、旅行者など多くの人たち全部が使いやすくなった点で、これまでの床の高い電車と大きく違うのです。

フライブルグ行きの列車の時刻が近付いてきました。来た電車に乗って駅まで行こうと歩いていたら、空にわかにかき曇りいきなり大粒の雨が降り出しました。そこへ電車。それとばかり扉に近付くと、なんとそれは駅のホームで見かけた例の床が高い電車。しかたがないということで、仲間たち4~5名にかつぎ上げられて車内。夕方、やっと環境と研究、学園都市のフライブルグ市に到着したのでした。つづく。



ひさじま編集長の

気まぐれエッセイ



病院 その5

昨年6月22日に、新南部のアパートを引き払って、長嶺町の借家に引っ越ししました。菊陽病院の主治医の赤木先生から前々から環境を変えた方がいいと言われていましたが、なかなか新しい家が見つかりませんでした。ふくし生協の中村代表や北村さんに頼んで探してもらっていましたが、適当なところがありませんでした。くわみず病院を退院してからしばらくは仕方がないと思い、新南部のアパートに住んでいました。その間、不思議な事に3ヶ月間アルコールを飲みませんでした。と言うよりも、その前に命を落としかけたので今までにない恐怖感に襲われていたからです。そんな生活状況の中、不幸がありました。私より1学年先輩で、養護学校を卒業して地域で仲間の力を借りて自立生活をしていた先輩が不意の事故で他界しました。私が今住んでいる家の中での事でした。その家の大家さんの好意で家の中まで車椅子で入れるように改造してあり、また家の中も車椅子で行動出来るように改造してありました。亡き先輩の後、その家は空き家になっていましたが、北村さんが中村さんに話をしてくれて私の引っ越しが実現したのでした。初めての借家暮らしに最初は落ち着きませんでしたが、周りに何もなくて、道路からかなり奥の方に入り込んでいる為とても静かなところに建っています。奥の方に入

り込んでいる為、初めて来る人に道を説明するのに最初のうちは戸惑っていましたが、慣れてくれば説明するのに苦労しなくなりました。静かなところなので環境的にもいいし、精神的にも落ち着ける家です。新南部のアパートに住んでいた時は、車の通る音や隣の部屋の子供達の走り回る足音などが気になって落ち着きがなかったです。また、私も飲み友達が出来ては夜遅くまで騒いでいたので随分迷惑をかけたことだと思います。その点では反省しています。その上、飲むたびに体調を崩していたので保田窪のT病院にもお世話になっていました。院長先生からもうさく言われていました。何回も同じ事をやると言われるのも当然でしょう。しかし、一旦AL症にかかれば、いくら周りがうるさく言ってもそれが逆効果になる事もあるのです。AL症は否認の病気です、なかなか認めようとしません。また、自分一人で立ち直ろうと思っても誘惑に負けて再飲酒に走り精神病院へ再び入院となるのです。何回も書くようだけど、私も菊陽病院という精神病院にたて続けて5回入院しました。それが不思議な事にこの1年6ヶ月間ソプラレティを持続している為、菊陽病院に入院していません。定期的に通院はしていますけど。

長嶺町に引っ越して、環境が変わったせいか精神的に楽な生活が出来るよ

うになりました。それと同時に、掛かりつけの病院も保田窪のT病院から西日本病院に変えました。西日本病院はとても綺麗な病院で、1F受付はホテルのロビーみたいになっていて病院という感覚は最初は思いませんでした。診察室は2Fになっていてエレベーターで上がっていくのですが、車椅子でも利用出来るようにスイッチが下の方についています。それに障害者用のトイレがいたるところにあり、利用するのにとても便利です。障害者用トイレと言っても障害者だけが利用するわけではありません。高齢者の方も利用されています。それに、診療科目も多数あるので体の不振を感じたら、それにあった診療科目で受診した方がいいと思います。今、私は内科を主に受診していますが、主治医の大村先生がとても良い先生なので私も話しがしやすいです。そして良くしてもらっています。時々入院させてもらっていますが、その時も毎日一回は顔を見に来られます。現在金曜日に菊陽病院と西日本病院に一週間おきに通院していますが、菊陽病院は距離的に遠いので、ふくし生協に送迎を頼んでいます。西日本病院は家から3Kmもないので愛車の電動車椅子で通院しています。朝早くから行くので、通勤ラッシュに会うことはありません。それに走行中に、看護(婦)助手さんと会うこともあります。そういう時は、声をかけたり手を振って合図してくれます。そして病院の受付で待っていると、私のところに来ては少しだけ話をし、勤務につかれます。診察が終わり、少々時間がある時は病棟に上がって行き、ほんの少しだけ看護婦さんと話をしてから労働センターに出勤します。

長 嶺町に引っ越し、病院も西日本病院に変えた事でまた新しい知り合いも

増えてきています。それに、これまでと違うところは訪問看護を受けるようになった事です。今まで何軒か病院を回りましたが、訪問看護は受けていませんでした。訪問看護を受けるようになり、健康チェックをしてもらっている為、安心して生活が送られるようになりました。二人で組んでおられますが、私の家に来られる時は入れ替わりの交替で来られるので楽しみなのですが、月曜日から金曜まで労働センターに来ているので、土曜日の午前中に来てもらっています。だから今は、土曜日が楽しみになっています。二人ともとてもユニークな看護婦さんで話をしていると、アッという間に時間が過ぎてしまいます。

○ 前の西日本病院入院の時は、病棟では電動車椅子を使用出来たのですが、それ以前は使用出来ませんでした。何回も大村先生に、「使用許可を」と言ったのですがダメでした。それがこの前は、看護部長さんの許可をもらってもらい乗り回すことが出来ました。だから、OP後の形成外来に治療に行く時も一人で行くことが出来たし、退屈な時は散歩にも出ることが出来ました。こう言った改善こそが、私たち障害者にとってとても大切な事だと思います。これから先も、過ごしやすい為に工夫してもらいたいものです。

今 回で、病院シリーズは終わりにします。来月号の気まぐれエッセイは、私の飲酒歴を少しずつ掲載していきたいと考えています。

平和を考えるシンポジウムに参加して

8月9日、市民会館にて平和を考えるシンポジウムが行なわれました。労働センターからは3名が参加しました。もうすでにシンポジウムは始まっていましたが、少し遅れてしまいました。私が会場に入った時は半分終わっていて、映画の青葉学園物語が上映されていました。映画は笑える場面と感動する場面がありました。市瀬さんは私のとなりにいて感動して涙を流していました。私は映画ではそんなに泣きませんでしたけど、パネラーの方の話をいろいろ聞いて被爆者の話を聞いて涙しました。パネサーの方が泣きながら話をされたのに涙しました。



同友会の方、美松遊機商会の佐藤さん、ミヤデンの方、安全管理センターの方当日はお疲れ様でした。ご招待して頂きありがとうございます。これからもご支援、ご協力よろしくお願いします。当日は、遅れてしまい申し訳ありませんでした。

野口 美枝子

第4回平和を考えるシンポジウムに参加しての感想

8月9日の13時から17時まで同友会の平和を考えるシンポジウムが、熊本市市民会館の大ホールでありました。労働センターからは私と野口さんと松井さんが参加しました。私は野口さんと市民会館の入口の前で待ち合わせて、それから2階に上がりました。私たちは13時の映画には間に合わなかったけれど、13時30分の戦争体験を受けた人の話を聞いて私は泣きそうでした。そして戦争を受けた人達は、治療をする時食塩酢を綿につけて治療していたと言っていました。それとずっと使っていた綿は捨てずに、また洗っていたと聞きました。それから14時から14時45分まで、パネルディスカッションでいろんな人達が、舞台上上がって戦争の事の話がありました。それから15時からお茶休憩に入って、また15時10分から17時まで最後の映画がありました。



私は最初の映画を見ておもしろくって笑っていたけど、後でいきなり涙目になって泣いてしまいました。私は戦争などがあつたら、今生きている人達が亡くなっていったかわいそうなので、戦争は絶対にならない方がいいと思います。同友会の皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございます。

市瀬 恵

清水さなえさんの美味しい料理の作り方

簡単メニュー

◎大根サラダ(4人前)

大根 — — — 2/1本(かぶでもよい)

シーチキン — — — — — 小1缶

ゆで大豆 — — — — — 小1缶

マヨネーズ — — — — — 適量

塩

作り方

- 1) 大根を短冊切りにし塩でもみ、絞る。
- 2) シーチキン、ゆで大豆、大根をマヨネーズであえる。

◎とうふステーキ(3人前)

きぬごしとうふ1丁

サラダ油

ねぎ

焼き肉のタレ

とうふステーキの作り方

- 1) とうふを三等分し少し水を切り、サラダ油で熱したフライパンで両面を焼く。
- 2) 焼いたとうふを皿にのせ、とうふの上にたっぷりのきざんだねぎを置き、焼き肉のタレをかけ出来上がり。熱い内におめし上がり下さい。

映画招待券当選者発表

8月にWITHの会に新規入会または継続申込いただいた方の中から、抽選の結果、次の3名の方が当選されました。9月の映画館の招待券をお送りいたします。

宮本 由美子様 久木田 絹代様 山崎 誠剛様

当選、おめでとう御座います。

熊本シネマランド

編集協力・キネコム

(熊本に映画博物館を創ろう会)

30

ライ・ライ・ライ



生まれてこの方一度も“ウソ”をついたことのない人っているかしら? ウソは人間の想像力の産物。ウソをつく人って頭のいい人かもよ!?

“うそも方便・ウソからでた真・ウソで固めた真実(!?)”ウソを信じ、ウソに賭けた三人の男女のお話。豊川悦司・鈴木保奈美・佐藤浩市ら三者三様のウソつきぶりにサア、あなたはだまされない自信ありますか?。原作/中島らも「永遠も半ばを過ぎて」

コン・エアー



衝撃のスピード・アクション・サスペンス、これは、まさに空の「ザ・ロック」だ!。囚人移送のためのFBI専用ジェット機(コン・エアー)。

模範囚(ニコラス・ケイジ)と凶悪な知能犯(ジョン・マルコビッチ)らを乗せ、高度1万mを飛行する雲の上の“密室”。地獄の戦場と化した機内で生き残るのは誰…。実力派スターによる本年度最高のサスペンス・アクション巨編!。

釣りバカ日誌 9



今や国民的人気の“釣りバカ”シリーズ最新作!。そして、初めての九州ロケ作品!。

ハマちゃんとスーさんが美しい海に囲まれた鹿児島県は甕島でキスの投げ釣りに挑戦する。今回は、ベテランのレギュラー陣に加え豪華なゲストも多数出演。エリート社員(小林稔侍)の恋の成就に、釣りバカ社員が大活躍!。《きれいな海を大切に!》次は熊本でハマちゃんの日本一の釣りの腕を見たいものですねえ。

マルタイの女



伊丹十三監督の“女シリーズ”第五弾!。殺人事件を目撃してしまった女優

ピワコ。犯罪の陰には謎のカルト集団「真理の羊」が!。目撃者ピワコを消そうと迫る殺し屋。裁判の日までは、命をかけてもピワコを守らねばならない二人の刑事。監督自らの襲撃事件を元にした恐怖とスリル・涙と笑い…。映画の面白さがギッシリ詰まった超エンターテインメント!。宮本信子の名演技!刑事役の西村雅彦・村田雄浩の好演が光る。

フィフス・エレメント



宇宙では5千年に一度、異次元空間への扉が開かれる。その時、宇宙の扉の隙間を縫って全ての生命と光を

消滅させる邪悪(反生命体)が出現するという!。

《反生命体》を撃退し地球を救うためには、火・水・土・風の四つの要素を持つ石と五番目の要素が揃わなければならない!。『レオン』のリュック・ベッソン監督が贈る未曾有の映像ワールド。主演/ブルース・ウィリス

ホワイトハウスの陰謀



アメリカ人にとって“大統領”は国家の最高権力者であると同時にその一挙手一投足、プライバシーの全てが注目をよぶ

国民の“ヒーロー”でもある。大統領の巨大な邸宅“ホワイトハウス”も訪れる観光客で引きも切らない。“大統領・ホワイトハウス”モノの映画も数多く作られているが、中でもこれは本物そっくり!正確なセット作り注目!。ホワイトハウスの隅々まで見せてくれるヨ!。



コリア愛のプラハ

さまざまな独身生活を楽しむ中年男・ロウカと五歳の男の子・コリア。二人の出会い、お互いへの理解と信頼、心の交流、そして裏切りの別を描いて静かな感動を呼ぶ。中年男ロウカは元チェコ・フィルの首席奏者まで務めたチェリスト。今は落ちぶれて教会での葬儀の追悼歌の伴奏などをしている。移動のたびに大きなチェロを抱えて電車に乗るのは大変だ。車を買う金ほしさに、ロシア人女性との偽装結婚を承知する。ところがその女性、チェコの国籍を取得するや恋人の待つ西ドイツへ逃亡してしまう。ロウカの手元へは、とんでもないお土産・五歳の男の子コリアが残されることに…。子供の世話などしたこともないロウカだが……。民主化運動に揺れ動いた社会主義国チェコの首都プラハを舞台に人間の誇り・自由への希求が溢み出る。ベルリンの壁の崩壊、ソ連邦の解体という歴史の大きなうねりの中で、東ヨーロッパ諸国の現状もかいま見えてくる。

Let's go to the Movies! 97' 10月

★毎月一日は映画¥1000デー ★市内駐車券持参で300円割引入場可。

熊本東映	☎356-7393	私たちが好きだったこと/ドリーム・スタジアム〜10/3	Lie Lie Lie (豊川悦司) 10/4〜
東宝1	☎352-1718	マルタイの女(伊丹十三/宮本信子/西村雅彦/村田雄浩)	
東宝2	☎352-1718	ロスト・ワールド〜ジュラシックパーク	
東宝プラザ1	☎352-0952	もののけ姫(南極物語を抜き、邦画の配収トップに)	
東宝プラザ2	☎352-0953	スピード2(サンドラ・ブロック)〜下旬	ボルケーノ下旬〜
セントラル劇場	☎353-4050	フィフス・エレメント(リュック・ベッソン/ブルース・ウィリス)	
セントラル1	☎356-3100	もののけ姫(二度観る人もけっこういます。)	
シネラックス1	☎352-3592	スピード2〜10/10	イベント・ホライゾン10/11〜
シネラックス2	☎356-7904	危険な動物たち(朝一回)、ロスト・ワールド〜10/10	ホワイトハウスの陰謀(他1本)10/11〜
DENKIKAN	☎352-2121	ラリー・フリント〜10/9	コリアの愛のプラハ10/10〜
	★レイトショー→	世界の涯にて〜10/3	サワダ4〜9
熊本松竹1	☎354-3611	コンタクト(ジョディ・フォスター、地球外知的生命体との接触)	リストランテの夜10〜17
熊本松竹2	☎354-3612	釣りバカ日誌9〜10/17	コーサカスの魔18〜24
			燃えよドラゴン25〜
			不機嫌な果実(林真理子/南果歩)18〜

一期一会

たった一日だけの上映会

■もののけ姫

・10/5(日)菊池市文化会館

・10:30〜 1:30〜

・熊本東宝 ☎352-1718

「釣りバカ日誌9」
みんなで見ると楽しめて、大
声で笑って、元氣の出る作
品って最高!!だから「釣りバ
カ」観ないと、夏が来た気が
しないですね。相変わらずだ
け、今度は仕事もして、宴会
芸にも磨きをかけてます。あ
んな風に気負わずに生きて
いけたらなあと思うこの頃で
す。
平成ユキ女

私の好きな映画

映画肥後狂句
京小町
・スピード2
・街のクライマックス
・バットマン&ロビン
・シニウちゃんが悪のヒーロー
・学校の怪談3
・ほろっとさずくのお化け達
・ジャングル大帝
・雑誌、テレビもヒットして
・カサブランカ
心に残るメロドラマ
一九四一年アカデミー賞
(ボガートとバグマン)

8月の日報から

9日 平和を考えるシンポジウム

10日 YYパソコン塾

11日 県同教課選別研販売

13日～15日 夏期休業

19日～20日 紙すき教室

20日 福祉相談所から見学

22日 市同和教育研究大会販売

23日～24日 バック連全国大会 (島根県)

24時間TV紙すき実演

26日～27日 九州同和教育研究協議会大会販売 (大分県)

27日 熊福連職員研修 (希望荘)

労働センター

8月のバック回収

労働センターの回収分

くまもと21労働組合会議	3. 3Kg
村田様	1Kg
スカイマート三の宮店	2. 4Kg
スカイマート新地店	1. 2Kg
スカイマート尾ノ上店	3. 4Kg
大江市民センター	4. 6Kg
中央郵便局	5. 0Kg
託麻市民センター	4. 4Kg
J A 小山・戸島支店	3. 3Kg
J A 出水支店	9. 6Kg
J A 健軍支店	6. 5Kg
くまもと生協	50. 3Kg
J A 供合農協	10Kg
東部市民センター	5. 8Kg
美松商会	3. 8Kg
熊本学園大学	1. 1Kg
個人8人分	7. 5Kg
東郵便局	4. 7Kg
秋津市民センター	1. 1Kg
有機の会	3. 2Kg
キッチン岡田	1. 6Kg
清水市民センター	5. 7Kg
熊本市役所	7. 6Kg
物流センター	12. 6Kg
グリーンコープ鹿児島	7. 5Kg
グリーンコープ共生社東支部	9. 9Kg
グリーンコープ共生社北支部	10. 6Kg
グリーンコープ宮崎準備会	8. 0Kg
長谷川様	1. 1Kg
ソプラニスト熊本	3. 2Kg
台信商店	6. 2Kg
ヤマギシ	2. 1Kg
J A 秋津支店	5. 0Kg
J A 田迎支店	1. 1Kg
古崎塗装	1. 5Kg
J A 北部支店	3. 4Kg
北部総合支所	2. 5Kg
龍田市民センター	2. 0Kg
水前寺公園郵便局	2. 6Kg
希望荘	5. 5Kg

24TVの時間持ち込み分	10. 5Kg
千賀崎様	0. 4Kg
熊大生協	1. 1Kg
サンリー菊陽寿屋	23. 5Kg
両国プロパン	1. 8Kg
菊陽南中学校	4. 2Kg
スナック島津	1. 1Kg
松井様	0. 8Kg
春竹コミュニティーセンター	2. 2Kg
向山コミュニティーセンター	1. 7Kg
京陵コミュニティーセンター	1. 0Kg
上通り郵便局	9Kg
慶徳コミュニティーセンター	6. 2Kg

あきた共同作業所の回収分

グリーンコープ共生社西支部	50. 7Kg
グリーンコープ共生社南支部	46. 7Kg
河内市民センター	2. 2Kg

天明市民センター	14Kg
幸田市民センター	26. 5Kg
宇土牛乳パックを広める会	25. 9Kg
花園市民センター	2. 5Kg
西部市民センター	3. 0Kg
川尻郵便局	60. 5Kg
宇土東小学校	2. 4Kg
あきた共同作業所	17. 2Kg
飽田市民センター	1. 8Kg
南部市民センター	

8月上質紙回収

労働センターの回収

労働センター	11. 9Kg
ミヤデン	44. 3Kg
グリーンコープ東	37. 9Kg
熊本県同和研究協議会	11. 2Kg
熊本県社会福祉協議会	31. 6Kg
熊本県福祉人材センター	17Kg
熊本県福祉総合相談センター	4. 1Kg
熊本ゼミナール武蔵ヶ丘校	21. 4Kg
熊本ゼミナール上熊本校	54. 6Kg
中山構造研究所	48. 5Kg
九州地域スーパー本部株式会社	45. 8Kg
両国プロパン	15. 4Kg
菊池虹の会	49. 5Kg

ご協力

有り難う御座いました。

編集後記



残暑厳しい日が続いていますが、皆さんは如何ですか。先月行なわれた24時間TVも無事終わり、紙すき体験には多くの人が参加して、環境問題の事を考えられた事と思います。

今月も何かと忙しくなります。が、みんなで手分けして頑張ろうとハッキリしています。また毎月第2日曜日には、パソコン教室を開いています。興味のある方は、労働センターまで連絡下さい。詳しい説明をお知らせしますので。

編集長 久島 雅樹

一九八〇年五月十三日第三種郵便物認可 (毎月四回 五・十・十五・二十の日発行) 発行日 一九九七年九月十五日 (定価五十円)
KAPD通巻第三八四号 発行人 熊本県身な 著団体定期刊行物協会 熊本市大江五丁目五十二番

岡ビル1F ヒューマンネットワーク・熊本 気付